

JPX 日経 400 の浮動株比率の変更について（2014年4月4日実施分）

株式会社日本経済新聞社と株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所は、「JPX 日経インデックス 400」の構成銘柄にかかるキャップ調整後浮動株比率を下記のとおり変更します。

キャップ調整後浮動株比率

銘柄	旧 → 新
7550 ゼンショーホールディングス	0.50000 → 0.49070

※変更の対象銘柄、実施日、変更理由など詳細については、次ページ以降をご参照ください。

【JPX日経インデックス400】キャップ調整後浮動株比率の変更について

2014年3月24日作成

情報登録日	実施日	銘柄	コード	キャップ調整後 浮動株比率	事由
20140224	20140306	三菱自動車工業	7211	0.58580	第三者割当て
20140310	20140331	日本電信電話	9432	0.66709	\$ その他調整
20140318	20140327	日立造船	7004	0.71142	合併
20140320	20140331	大京	8840	0.31680	優先株の転換
20140324	20140404	ゼンショーホールディングス	7550	0.49070	第三者割当て

キャップ調整後浮動株比率にかかる運用ルールにつきましては、算出要領をご覧ください。

キャップ調整後浮動株比率欄の「\$」は、1.5%キャップ適用対象銘柄であることを示します。

本資料は、株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社（以下、総称して算出者という。）の著作物であり、本資料の全部又は一部を、いかなる形式によっても、算出者に無断で複写、複製又は転載することはできません。本資料は、株価指数への理解を高めるために作成された資料であり、有価証券の売買等に関する勧誘等を行うためのものではありません。また、算出者は、本資料を利用される方が、本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等について、その責めを負いません。